

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・論述・面接試験 合格体験記

2026年 3月 25日

2級受検番号 NO 03S1520350 氏名 H.N (東京都在住)

■2級技能士を目指したきっかけ
国キャリアの取得をきっかけに、キャリアコンサルティングの社内研修に携わるようになり、社内の1級ホルダー、2級ホルダーの上司の指導力、知識・技量に圧倒し、自分もさらに上を目指したいと思うようになったことがきっかけです。
■当初の勉強法
ロープレについては、何十回も練習しました。仕事終わりの年末年始に受検仲間たちとオンラインでロープレ、社内の上司にフィードバックをもらうため有休を取得してロープレ、土日は逐語録を作成して振り返りなどしていました。論述は過去問7回分ほど解いて、時間内に書き切れるように訓練しました。
■合格のきっかけ
面接本番のとき、目標設定を試みたところ、CL役から納得いかない態度（抵抗）をされました。その時に、無理に説得したりせず、「何か引っかかることはありますか?」「何か気になることとかあれば遠慮なく仰ってくださいね」と一旦立ち止まって、CLの気持ちを尊重する関わりをしたことが、評価されたのではないかなと、合否が出た今、振り返るとそう思います。口頭試問は7分ぴったりで、面接官の方が終始ものすごく頷いてくれたので、緊張せずに答えることができました。ロープレの手応えがなかったので、口頭試問で挽回できたのだと思います。
■学科試験対策
2級の過去問3回分、国キャリアの過去問3回分をすべて解きました。国キャリア取得から1年後の受検だったためか、過去問はすべて合格ラインに達していたので、今回は市販のテキストや問題集に目を通して復習をする程度にしました。国キャリアのときは、市販の問題集、テキスト、アプリなどを駆使して、試験3ヶ月前からコツコツと勉強していましたので、しばらくぶりの受検の方は、それなりに対策しないと厳しいかもしれません。
■論述試験対策
1級キャリアコンサルティング技能士の会の「論述添削（在宅）」を申込みました。国キャリアのときも論述添削いただき、おかげさまで自分の中で論述の型が固まり、本番に臨むことができたので、引き続き2級の添削もお願いしました。過去問ではなくオリジナルの練習問題2ケースで添削いただけるので、既視感なく、本番さながらに解くことができたのがよかったです。添削後にいただいた解答例は、本番が始まるギリギリまで、ひたすら型をインプットしていました。
■面接試験対策
対面・オンラインともにロープレを行い、1級・2級ホルダーの方から何度もフィードバックをいただきました。以前、1級キャリアコンサルティング技能士の会の講師の方に、「友人の相談を聞くとときと同じように聞いてあげる」ようにアドバイスを受け、冒頭だけお手本を見せてもらったところ、とてもフランクな感じで、自然に気持ちに寄り添って話しかけていたのが、とても印象的でした。それ以降は気持ちに寄り添うことを第一に考えながら、ロープレに臨めるようになり、今回の2級受検にも活かすことができたと思います。

■受検される方へメッセージ

私は、これから1級受検を視野にいれて、キャリアコンの勉強は続けていく予定です。最初は自分のキャリアを見据えて始めた勉強でしたが、次第にキャリアコンを勉強することが楽しくなって、もっとキャリアコンを極めてみたいという気持ちのほうが強くなりました。1級はさらに合格率も低く、何年、何十年とかける覚悟が必要だと思いますが、それでも諦めずに何度も挑戦したいと思っています。これから2級受検される方も、これまで努力してきた自分を信じて、諦めずに、頑張してほしいと思います。